

【資料1】

# 上水道事業・下水道事業の 概要について

令和3年9月



## ■中野市上水道事業の沿革、現況

大正 12 年に郡役所井戸と天神井戸を水源として大黒町 108 戸と中町 73 戸へ給水を開始したのが本市最初の水道です。当時の中野町では、夜間瀬川の清流を取り入れ、水路によって運ばれた水を飲料水、農業用水等に利用していました。大正時代は頻繁に腸チフスが発生しており、この対策として大正 13 年に上水道事業経営創設認可を受け、栗和田地区の清浄な水源から取水して昭和 2 年 1 月から 1,161 戸への給水を開始しました。

昭和 29 年に中野市が発足し、昭和 30 年に全市を上水道とし、これ以降給水人口、給水量の増加、浄水方法の変更等により 7 回の拡張事業を行いました。

豊田地域は、昭和 31 年の豊井村・永田村合併に伴う新村建設計画で全村水道事業を行うことが決定されました。当時の豊田村の水道は 44 箇所の集落単位で、整備されていない地域もあり、水源は沢水で、給水状況は不安定でした。昭和 43 年に斑尾山山麓に試掘ボーリングを行い、水源を確保できたことから、昭和 44 年に上水道事業経営の創設認可を受け、その後 6 回の事業変更許可を受けました。

北部簡易水道は、昭和 44 年度に簡易水道事業の創設認可を受け、夜間瀬川右岸の越、赤岩、柳沢に給水しました。

倭北部簡易水道事業は、昭和 58 年に簡易水道の統合認可を受け、田上、岩井、岩井東に給水しました。平成 23 年には、北部簡易水道事業に倭北部簡易水道事業を統合しました。

そして平成 28 年度末をもって、経営の効率化を図るため、中野地域上水道、豊田地域上水道、北部簡易水道は経営統合され、中野市水道事業として一本化されました。現在は計画給水人口 43,300 人、計画給水量 18,500 m<sup>3</sup>/日で認可を受けています。

## ■今後について

平成 22 年度に基本計画となる「中野市水道ビジョン」を策定しましたが、策定から 10 年経過し、人口減少時代への転換、自然災害への対応など新たな課題への取り組みが必要となることから令和 2 年 3 月に、「中野市水道ビジョン 改訂版」を策定しました。今後はこの基本目標である「安全で豊かな水を届ける水道」「災害に強く安定供給できる水道」「次世代に続く水道サービス」を目指し、各種施策に取り組んでいきます。

また、令和 4 年度から老朽化が進んでいる栗和田浄水場の更新に着手します。合わせて耐震化を図ることにより、災害時においても確実に浄水処理を行い、水道水を供給します。



### ■ 下水道の種類

下水道には、その制度により種類があり、中野市の下水道は以下の種類に分けられます。

- ①公共下水道
- ②特定環境保全公共下水道
- ③農業集落排水施設

下水道の処理区域は下記のとおりに分けられます。

- 公共下水道 …中野、七瀬（長嶺）処理区
- 特定環境保全公共下水道…牧ノ入、竹原、高丘、上今井処理区
- 農業集落排水施設 …草間、延徳、日野、大俣、長丘、平岡、科野、倭、永江、毛野川、豊田処理区

### ■ 下水道事業の沿革、現況

下水道事業は、市街地下流農地の土壌汚染を契機に昭和 49 年度に公共下水道基本計画として整備計画を策定して以来、計画的に事業を推進してきました。

公共下水道事業は、昭和 60 年 11 月に一部供用を開始し、整備を続け、現在は宅地開発による管渠の敷設を中心に整備を進めています。

特定環境保全公共下水道事業では、平成 5 年度に牧ノ入処理区の整備に着手、平成 6 年度に一部供用開始。平成 6 年度には高丘処理区の変更認可申請を行い、平成 12 年 3 月に一部供用を開始。平成 10 年度には公共下水道関連事業として竹原処理区の変更認可申請を行い、平成 12 年 3 月に一部供用開始、平成 15 年度完了。豊田地域においては、上今井処理区が平成 15 年 4 月に供用開始をしました。

農業集落排水事業では、草間地区で昭和 61 年度に着手、平成 2 年 4 月に供用開始。平成 7 年には延徳地区、平成 8 年には長丘地区、平成 11 年には日野地区、平成 14 年には平岡地区、平成 16 年 3 月には科野地区、12 月には大俣地区、平成 17 年 1 月には倭地区で供用開始。このことにより農業集落排水事業の全地区で供用開始をしました。また、豊田地域においても平成 11 年 12 月に毛野川地区、平成 14 年 4 月に永江地区、平成 16 年 6 月に豊田地区が供用開始をし、全地区で供用開始をしております。

## ■今後について

---

公共下水道中野浄化管理センターは昭和 60 年供用開始から 30 年以上経過し、老朽化等のため施設の更新が必要となってきました。そこで、平成 26 年度から中野浄化管理センター長寿命化計画及び耐震化計画を策定し、中野浄化管理センター再構築事業（長寿命化工事・耐震化工事）を実施しております。

また、経営の効率化を図るため、今年度から令和 5 年度までの予定で、農業集落排水施設である草間処理区、日野処理区、延徳処理区を順次廃止し、隣接する公共下水道処理施設または、特定環境保全公共下水道処理施設へ統合し、維持管理費の削減に努めていきます。

料金改定の変遷

年度	事項	上水道		下水道	
		(中野地域)	(豊田地域)	(中野地域)	(豊田地域)
H8	改定年月日	H8.8.1		H8.8.1	
	改定率	8.82%		13.80%	
	改定の内容	口径別基本料金の改定と水量料金の改定		基本料金の改定と汚水量料金の改定	
H9	改定年月日	H9.4.1	H9.4.1	H9.4.1	
	改定率				
	改定の内容	消費税率の引き上げ及び地方消費税導入による引き上げ	消費税率の引き上げ及び地方消費税導入による引き上げ	消費税率の引き上げ及び地方消費税導入による引き上げ	
H11	改定年月日			H11.4.1	
	改定率	据置き		7.50%	策定
	改定の内容			基本料金の改定と汚水量料金の改定	
H12	改定年月日		H12.4.1		
	改定率				
	改定の内容				
H13	改定年月日			H13.9.1	
	改定率	据置き		6.00%	
	改定の内容			基本料金の改定と汚水量料金の改定	
H19	改定年月日	H19.4.1	H19.4.1	H19.4.1	
	改定率			7.97%	△14.25%
	改定の内容	閉栓時の基本料金を廃止	閉栓時の基本料金を廃止	旧市村の使用料等を各々改定し統一(平均使用量を20㎡と見込む)	
H21	改定年月日	H21.4.1			
	改定率	据置き	△20.9%		
	改定の内容	旧市村の使用料等を統一(中野地域の料金に統一)(平均使用量を20㎡と見込む)水道の管理区分を新たに統一			
H22	改定年月日			H22.4.1	
	改定率			据置き	
	改定の内容			H22.4.1～H25.3.31	
H24	改定年月日	H24.4.1			
	改定率	据置き			
	改定の内容	H24.4.1～H27.3.31			
H25	改定年月日			H25.4.1	
	改定率			据置き	
	改定の内容			H25.4.1～H28.3.31	
H26	改定年月日	H26.4.1		H26.4.1	
	改定率				
	改定の内容	消費税及び地方消費税率の引き上げによる改定		消費税及び地方消費税率の引き上げによる改定	
H28	改定年月日	H28.4.1		H28.4.1	
	改定率	据置き		据置き	
	改定の内容	H28.4.1～H31.3.31		H28.4.1～H31.3.31	
H30	改定年月日	R1.10.1		R1.10.1	
	改定率				
	改定の内容	消費税及び地方消費税率の引き上げによる改定		消費税及び地方消費税率の引き上げによる改定	